



音楽運動



日本音楽協議会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 3 丁目 10-15 富士ビル 505 号室 発行人 松本敏之
TEL 03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

ナオミの優勝に沸く合宿 俺たちも目標を持って進もう

FMカンパニーは1月26日(土)〜27日(日)、新十津川のコテージで総会と合宿を行った。日本海側を中心に全国各地で大雪だった週末、ここ道央は雲ひとつない晴天に恵まれ遠くに山々が連なり壮大な景色が見渡せた。

さて今回は9名のFMメンバーの他に、青森から甲屋さん、秋田から後藤さんが特別参加してくれた。普段ならコテージに着くなり早々に乾杯するところだが、総会では真面目な議論のため酒はお預け。今年は支部の「うたっていいんでないかいコンサート2019」を2年ぶりに秋に開催することを決定し、さら8月14日には、北海道祭典でのゲストだった朴保(パク・ポー)のライブを企画。さらに秋田祭典に向けては全力を注ぐ方針を決めた。一方、第55回以降の音楽祭典の議論もしたが、決定打は見いだせず、こちらは継続審議となった。

4時から、いよいよ合宿という名の宴会が始まった。お酒は日本酒5升と4合瓶が11本にワイン2本、バーボンと焼酎1本、ビールは20本。いつもながら庄巻だ。

だが1時間半ほど経とうとした5時30分にどうしても宴会の中断を余儀なくせざるを得ない事態になった。それは大坂ナオミの全豪テニスの決勝を応援するため。北海道の根室市にナオミのおじいちゃんがいることは承知のとおりだが、実はナオミは札幌の市民なのである。ただ厳密には「住民票」を置いているだけだが。フルセットのすえ優勝を決めた瞬間は、皆で抱きあいながら喜びを爆発させた。「そうだ!俺たちもナオミに負けないように目標を持って進もう」



呑んでばかりでいたわけじゃないですが・・・



秋田と青森からも参加しました

「追伸」
近頃、メンバーの怪我が続いている。村雲さんが階段から転落して頭蓋骨陥没。佐藤会長は、除雪で転倒して首の頸椎を損傷。かくいう小生も地下鉄で階段を踏み外し顔面打撲。みんな大事には至らないようだが、皆さんもお気をつけましょう。
(磯野宏之)

う」と決意を胸にし、8時から合宿後半の酔いどれコンサートと相成った。12時30分に終了。翌朝は合宿に向けて各自が事前に作ってきた創作曲を披露。今回は村雲さんの12曲をはじめ全員で21曲にもなった。この中から祭典での発表曲を今後絞り込んでいく。

今年のFMカンパニーはボ〜っとしてはいられないのである。



桑野さん制作の「人形たち」



今年のFMカンパニー「ボ〜としてはいられないぞう」



『ういみん』 練習場所はカラオケボックス



音響担当の岩野さんも演奏した『風来帽子』



『ラウアエ』 照明担当の常盤さんもギター伴奏

2018年12月22日(土)13時半より、北区滝野川会館小ホールにおいて、東京都支部コンサート『届けたい私の歌』を開催しました。参加は出演者も含め87名。この日は他にもいろいろな集会在り、昨年ご来場をいただいた方から「今年はごめんなさい」と言われることが多かっただけに、昨年同様の集客は嬉しかった。

演奏団体はサークル・個人の12団体(49(フオーティ・ナイン)/メイウィンズ/ビッグ・イズ/風来帽子/JoJo & Last/天羽憲治/あんくるん/ういみん/フジミグループ/ラウアエ/狭石啓子/都支部)のエンタリーだったが、都支部コンサート初出演のフジミグループは都合により欠席となり、11団体と「みんなで歌おう」コーナールの12演目となった。オープニングを飾った49の一曲目「リスク・ハイ」は冒頭から「酒! 飲みすぎると胸ムカついて」と、身に覚えのある観客の心を鷲掴んだ。

会場は慣れた滝野川会館。今回は初めて横長に使用した。横長では客席を多く確保できなかったため、コートかけの用意や案内担当者配し、無駄なく座っていたべく努めた。結果、どの席からも演奏者が近く見え、好評であった。恒例の打ち上げ兼合評会には懇意にしているたんぼ舎のご夫婦のご参加もあり、観客としての意見もいただける有意義なものとなった。

(森 理子)

都支部コンサート「届けたい私の歌」 11団体が熱のこもった演奏

天羽コンサート DVD完成

注文される方は下記のアドレスにメールで DVD なのかブルーレイなのかと数。住所、氏名、電話番号をお知らせください。

メールで指定された住所に現物を郵送しますが、代金の送金先もメモを入れておきますので、書かれている口座に送金を御願います。

〈メールアドレス〉

nrb29814@nifty.com

山田 力
〒862-0916
熊本市東区佐土原 1-8-45、1005
携帯: 090-4514-7398
価格は DVD1500 円、ブルーレイ2000 円です。

ついでと言っては何ですが第 51 回はたらくものの音楽祭の DVD、ブルーレイも完成しています。上記と同じ方法でお分けします。

価格は DVD、ブルーレイ共に日音協会員 3000 円、会員以外 4000 円です。

PROFILE

天羽憲治 あもうちん

1947 年東京都生まれ。1967 年音楽学校卒業。1970 年東京都立音楽学校卒業。1973 年東京都立音楽学校卒業。1975 年東京都立音楽学校卒業。1977 年東京都立音楽学校卒業。1979 年東京都立音楽学校卒業。1981 年東京都立音楽学校卒業。1983 年東京都立音楽学校卒業。1985 年東京都立音楽学校卒業。1987 年東京都立音楽学校卒業。1989 年東京都立音楽学校卒業。1991 年東京都立音楽学校卒業。1993 年東京都立音楽学校卒業。1995 年東京都立音楽学校卒業。1997 年東京都立音楽学校卒業。1999 年東京都立音楽学校卒業。2001 年東京都立音楽学校卒業。2003 年東京都立音楽学校卒業。2005 年東京都立音楽学校卒業。2007 年東京都立音楽学校卒業。2009 年東京都立音楽学校卒業。2011 年東京都立音楽学校卒業。2013 年東京都立音楽学校卒業。2015 年東京都立音楽学校卒業。2017 年東京都立音楽学校卒業。2019 年東京都立音楽学校卒業。

意利麻記 くらりまき

1967 年東京都生まれ。1987 年音楽学校卒業。1990 年東京都立音楽学校卒業。1993 年東京都立音楽学校卒業。1995 年東京都立音楽学校卒業。1997 年東京都立音楽学校卒業。1999 年東京都立音楽学校卒業。2001 年東京都立音楽学校卒業。2003 年東京都立音楽学校卒業。2005 年東京都立音楽学校卒業。2007 年東京都立音楽学校卒業。2009 年東京都立音楽学校卒業。2011 年東京都立音楽学校卒業。2013 年東京都立音楽学校卒業。2015 年東京都立音楽学校卒業。2017 年東京都立音楽学校卒業。2019 年東京都立音楽学校卒業。

山田吉子 吉子ちゃん

1967 年東京都生まれ。1987 年音楽学校卒業。1990 年東京都立音楽学校卒業。1993 年東京都立音楽学校卒業。1995 年東京都立音楽学校卒業。1997 年東京都立音楽学校卒業。1999 年東京都立音楽学校卒業。2001 年東京都立音楽学校卒業。2003 年東京都立音楽学校卒業。2005 年東京都立音楽学校卒業。2007 年東京都立音楽学校卒業。2009 年東京都立音楽学校卒業。2011 年東京都立音楽学校卒業。2013 年東京都立音楽学校卒業。2015 年東京都立音楽学校卒業。2017 年東京都立音楽学校卒業。2019 年東京都立音楽学校卒業。

吉村安見子 安見ちゃん

1967 年東京都生まれ。1987 年音楽学校卒業。1990 年東京都立音楽学校卒業。1993 年東京都立音楽学校卒業。1995 年東京都立音楽学校卒業。1997 年東京都立音楽学校卒業。1999 年東京都立音楽学校卒業。2001 年東京都立音楽学校卒業。2003 年東京都立音楽学校卒業。2005 年東京都立音楽学校卒業。2007 年東京都立音楽学校卒業。2009 年東京都立音楽学校卒業。2011 年東京都立音楽学校卒業。2013 年東京都立音楽学校卒業。2015 年東京都立音楽学校卒業。2017 年東京都立音楽学校卒業。2019 年東京都立音楽学校卒業。

KENJI AMOU

天羽憲治が歌う あもちん

2018 年 11 月 23 日 (FRI) 24 日 (SAT) ホール エプタ・ザール (2 回)

日音協総会の感想

青木瀬奈



◎総会のあり方

- みんなの顔を見ながら話し合いができる環境づくりの設定ができるといい。
- 支部の活動報告を発表するのであれば、簡単でいいので、各支部ごとに紙面で表記して、以下の通りですといった具合にする。そこで、特に力を入れたことや新たな取り組みについて話す時間にするのはどうか。
- 縦のつながり関係なく、どんな些細なことでも言い合えるような場の空気の作り方、進め方を考えたほうがいい。あまりかしこまらず、ちょっとお茶でも飲みながらーって感じで。
- 発言制だと気をつかう事があったり、恥ずかしいと言った人もいると思うので、大きめの付箋を使った「ブレインストーミング」を使い、自由に自分の想いを表現できるようにする。
(ブレインストーミング: 複数でそれぞれの意見やアイデアを自由にだしあう事で、より柔軟で新しいアイデアを生み出す発想法)
- 休憩時間は充分に取るべき。

◎祭典について

- 年に1回は開催すべき!!
- いろんなジャンルの音楽発表ができる場所であってほしい。形式として、ギター、ピアノ、バンド、合唱、アカペラなど。曲の内容として、時事ネタ、生活、仕事のことなど。今までの歌も歌いつつ、新しいものを受け入れて行けるようにする。
- 一般の方が見に来やすいような宣伝の仕方にする。SNS(ツイッター、FB、インスタなど)を利用した呼びかけやライブ配信を積極的に行う。
- 会場により、入りやすさが決まってくるのではと感じる。「〇〇会館」「〇〇ホール」は、一般の人にとって入りづらいのかな…。かといって、ライブハウスもふらっと入るには…といったところがあるのかな?秋田の駅ナカでやったのはすごくよかったと思う。野外ライブ的なものはどうか。

◎その他

- 「若い会員」の交流がもっと深まるといい。そのためにも、各支部にいる若い会員の把握をし、若い人から呼びかけるのはどうか。
- 若い人たちが会議に参加する態勢がとれるといいと思う。日音協の一員として、音を表現する側としての、新たな発表方法や取り組みについてアイデアが出る可能性がある。
- お金を出してまで会員になる、この先も継続していきたいと思えるような取り組みって難しい。合宿のあり方、発表できる場を獲得できているかといった点にもよると思う。



東京新聞より

辺野古埋め立ては違法

1月30日、総務省前ヒューマンチェーンの行動に参加して来ました。

総務省と防衛省の黒いつながりをあぶり出し、今回の総務省の団体署名を受け取らないという不当な対応に、寒空の下400人余の怒りを結集し、ヒューマンチェーンとなって総務省を半囲みしました。

東京都支部から、松崎歌子さん、長島千代美さん。千葉県支部から鈴木清美さん。反原発うたいたいから、ようこさん、スーさんが参加しました。

行動の最後に恒例の「送り出しの歌」をうたいました。私たちが横並びになって歌い出すと、列に加わって歌う方、立ち止まって歌う方がいて、嬉しい場面でした。帰るみなさんも、歌を口ずさみながら帰る方がほとんどでした。

今回歌ったのは、「真実は沈まない」「沖縄今こそ立ちあがろう」「座りこめここへ」でした。

今回、音楽は、集会の前に、トランペットで「座りこめここへ」と「月桃の花」のソロ演奏があっただけで、歌はありませんでした。

腕をくみ、座り込んで歌いながら抵抗している沖縄の現地の闘いに連帯して、歌いたかった人はいっぱいいたんじゃないかな～、という思いが心をよぎりました。

(坂口美日)

2019 日音協の行動予定

- 2月8日(金)～10日(日) 日音協セミナー/若い会員の交流会
- 3月16日(土) 2019 原発のない福島を! 県民大集会
- 3月21日(木・祝) さようなら原発全国集会
- 4月 (統一自治体選挙)
- 4月27日(土) 第90回連合中央メーデー
- 5月3日(金・祝) 憲法集会
- 5月6日(月・祝) 日音協第3回幹事会
- 5月17日(金)～19日(日) 日音協沖縄行動
- 6月1日(土)～2日(日) 全国代表者会議 or 臨時総会
- 7月 (参議院選挙)
- 8月 (原水禁世界大会)
- 9月15日(日)～16日(月・祝) 第52回はたらくもの音楽祭(秋田市)
- 9月15日(日) 全国交流会
- 10月 関東。東京ブロック合宿/東北北ブロック合宿
- 11月 (護国大会)
- 11月 全国総会

「2018うたのひろば」が盛況!

広島県音楽サークル協議会

事務局長 尾上耕造

12月1日(土)、恒例となった広島サ協の「うたのひろば2018」を広島市内のカラオケのイベントホールで開催しました。

朝からの仕込み・リハーサルを終え、13時30分にオープニングのシングアウト。続いて小山会長挨拶。今年は例年に増して多くの出演者がありプログラムの調整に嬉しい悲鳴。リコーダ、オカリナ、三味線、ピアノ演奏など多彩。友情出演のチャング(朝鮮打楽器)の演奏は圧巻。

連続8回参加いただいているゲストの窪田聡さんはいつもながら参加者全員が一体となる楽しい演奏空間を提供。アコ集団「NORA」は日頃の練習の成果を披露。全部で17演目。参加者40名で盛況でした。

反省点として「もっと歌いたい」の声もあり、来年の課題に。

＜参考＞

アコ集団 NORA ノロク

<http://acornorablog12.fc2.com/>

(アコースティックバンド)



連続8回参加の窪田さん



多くの出演者がありました



肩寄せあって、はいポーズ！



カラオケのイベントホールでの演奏でした

「インターナショナル」を全体合唱 香川・団結旗開きで演奏



2019年1月7日、高松市マリパレスさぬきで開催された、年始の恒例行事である、19春闘・統一自治体選挙・参議院選挙勝利！香川県平和労組会議・高松地区労合同「団結旗開き」戦争のない平和な社会をめざして、日音協香川県支部として参加しました。

開会前のうたごえで、「どんなに時が流れても」「沖繩今こそ立ち上がろう」「決意」「がんばろう」の4曲を歌いました。特に「沖繩 今こそ立ち上がろう」は連帯の意味も込め、気持ちを込めて歌いました!!

閉会前の「インターナショナル」の全体合唱では、参加者が肩を組んで歌っていたのが、嬉しかったです。

各団体・組織からの「今年の抱負の発表」では、「楽」という字を披露し、今年一年楽しく歌っていきたいと発表しました。ついでにメンバー募集もちゃっかりさせていただきました。

(細川 剛)

富山県支部1月活動報告

2019年、新しい年がスタートしました。富山県でも恒例の旗開きが下記の通り開催されました。

- 1月 6日 富山県職労団結旗開き
7日 自治労富山県本部 2019 新春旗開き
15日 富山県平和運動センター・地区センター合同旗開き
19日 2019政治決戦必勝！躍進の集い

いずれも最後に会場の参加者が大きな輪になって「がんばろう」うたって決意を固めました。

全国の皆さん！今年も大きな輪になってよろしくをお願いします。



1/15 富山県平和運動センター・地区センター合同旗開き



1/19 2019 政治決戦必勝！躍進の集い

【今後の予定】

- 2月11日(月・祝) 10:00～
第10回とやま憲法フェスタ
自治労とやま会館3階
14日(木) 16:00～
県立中央病院「ヒーリングコンサート」1階ロビー(アコ研)
18日(月)
富山県支部第45回定期総会
自治労とやま会館304 会議室
3月 9日(土) 北信越ブロック合宿打合せ：新潟県上越市(予定)

- 原発のない福島を！県民大集会
開催要綱骨子について(概要)
1. 名称 2019原発のない福島を！県民大集会 原水禁国民会議
 2. 日時 2019年3月16日 13時から
 3. 会場 福島県教育会館 福島市上浜町10-38
 4. 呼びかけ人(略)
 5. 主催 「原発のない福島を！県民大集会 実行委員会」
 6. 後援 県漁業協同組合連合会
県女性団体連絡協議会
県森林組合連合会
県生活協同組合連合会
県農業協同組合中央会
ハイロアクション福島
ふくしま復興共同センター
脱原発県民会議
福島県平和フォーラム
 7. 集いの趣旨・意義 (未定)
 8. 集会における私たちの訴え(略)
 9. 集会規模 700名(入場無料、どなたでも参加できます)
 10. 集会内容(屋内集会)
開場 13時
開会 13時30分(予定)
実行委員長あいさつ
連帯のあいさつ
呼びかけ人あいさつ
県民の訴え
アピール採択
閉会 15時40分(予定)
(その他)会場フロアー(2階)において、津波被害、原発災害の写真パネル展示を行います。
※要綱が固まり次第、日音協としても要請文書を発送します。

12月23日(日)「風」

12月23日(日)、東京都港区の男女平等参画センター・リーブラホールに、歌のあつまり「風」コンサート「うたう井戸端かいぎ」に行ってきました。

歌のあつまり「風」は、印牧真一郎さんが日音協事務局長を退いて間もない1993年10月に開催した「ネマキまつり」をきっかけに1994年2月に発足した合唱団で、印牧さんが指揮をつとめました。

2018年4月1日、メンバーの総意で“風”は再スタートをきることを決めました。ネマキさんはいませんが、新しい“風”のスタートです。指揮者をおかず、皆でわいわいがやがや言いながら歌を、作っています。うたう井戸端かいぎでは、歌のあつまり“風”として、萩京子のソングから、ハンス・アイスラーのソングから、林光のソングからの3部構成。これに、「ソングと私」として、団員のソロ、デュエット。それから団員や元団員からなる3つのグループ、坂口母娘(美日・珠萌・珠乙)・あくるん(赤羽由規子、松山恵子、森理子)・シャリバリかんから(村上理恵子、倉田智恵子、大館真弓、犬塚喜久男)の演奏。さらにピアニストの平野義子のピアノソロ。ゲストのような位置づけの劇団もつくりやの詩よみ。飛び入りコーナー(と言いつながらプログラムに書き込んである)でこんなにやく座歌役者の沢井栄次さんのうた。最後が、みんなでソングとして宮沢賢治、林光の「ホラーノの広場の歌」(印牧真一郎編曲)でした。

多彩のステージ。とりわけ「風」はソングにこだわっていました。印牧真一郎さんの編曲による合唱も多く、とても心あたたまるコンサートでした。(松本敏之)

水道橋 だより

▼1月20日、第2回幹事会を開催しました。その中で、第52回はたらくものの音楽祭の取り組み状況が報告されました。▼秋田県支部では、開催記念CDを制作することになったそうです。制作コンセプトには、『県支部所属の活動家の平均年齢は60歳代の中頃を越えようとしているので、見方を変えたと現在のメンバーが取り組む秋田での音楽運動の円熟期を迎えているともいえます。ひとり一人が醸し出す個性が合わさって今だから出せる味となるだろうと密かに期待をしています。このメンバーがしっかりと演奏で曲ごとのメッセージを的確に表現して、これまでよりも一段高まった演奏力と表現力を収録することで音楽運動の可能性を広げる取り組みにしたいと思います。運動の継続には世代の交代が必要になるが、音楽で表現することに年齢は関係ありません。いま集まるメンバーが先頭になって率いることが、秋田県支部の音楽運動の可能性を広げていくことになります。その足跡から新しい芽が出るはずだから、音楽に年齢は関係ねえ!』とあります。▼また『演奏担当になった皆さんは、年末年始に楽器を1日最低1時間以上弾くこと。2週間毎日さわり続けることで何かが変わるはず。ボーカルとコーラス担当になった皆さんは、ストレッチと腹筋、腹式呼吸を頑張ってみること。』と指示も出ておりました。▼CDの詳細が決まりましたら、案内します。事前の購入申込をお願いします。(佐藤)

首都圏反原発連合の行動は1/11から。今日は官邸前も静かで警備もないが、警察車両は並んでいた。行動が無くても知らずに参加する人のために、誰かしら歌いに来るのが恒例になっている。

茱萸坂に向かって道路を渡ろうとしたところ、反対側から渡ってきたコミネッチとばったり。今日が金曜日という感覚なく、国会前に来たそう。押しているのは乳母車。「いつ産んだの!」「産んでないよ!!」と爆笑。乳母車には私がゆずったアコーディオンが乗っている。

た。「今、経産省前テントのところで餅がふるまわれていてさ」と立ち話をしていたら鈴木さんもやってきた。3人でいつもの茱萸坂に移動して歌い始めた。

コミネッチはアコの修行中。「なんでもCで弾いちゃって」という。楽譜は見ないでがん弾き進めるタイプらしい。運搬用の双子用乳母車はリサイクルショップで買ったそうだ。アコーディオンとアンプが積載され、なんと照明も装備されている。煌々とライトが照らすなか、アコ2台の伴奏で賛歌に歌った。『あたりまえの地球』『風車の唄』『私たちは許さない』。

茱萸坂に集まろう

そうしているうちに達哉が到着。いつも曲を選びたがる達哉だが、今日歌いたいのは季節もののようだ。『お正月』『豆まき』『ひなまつり』『ひなまつり』は加本さんの反原発バージョン。『豆まき』も反安倍バージョンがあったはずだが歌詞が見つからなかった。季節ネタは歌える時期が短いからなかなか覚えられない。それだけの特集歌詞カードが欲しい。

行動がなくても、反原発の意思表示でやってくる人はいる。「今年もよろしく」「がんばりましょう」と声をかけあう。いつもより近い気分になる。今年は良い年になりますように。私たちもふんばって、良い年にすることができそうです。

日音協セミナー/若い会員の交流会

いよいよ2019日音協セミナーと若い会員の交流会が、2月8日～10日に開催されます。今のところ、日音協セミナーには8名、若い会員の交流会には7名、講師1名の参加となっています。合同のカリキュラムの講師・まとはよしおさんからは「参加者は多い方がいいですが、10名くらいがベストですかね!私自身楽しみにしています。」とのこと。8日金曜日の茱萸坂行動にも参加するそうです。ちなみに私も引率(責任者)として参加しますので、何かありましたら、私の携帯090-9037-5195まで連絡してください。(副会長・佐藤)

どん行

(115)

飯島貞親

任者だったはず。歴史の事実を忘れて日本国民はどうしてこのうも人好しなのか。

▼年が明けメディアは連日「平成最後」「天皇退位」を叫んでいる。大手新聞の一面にデカデカと占有されるとうんざりする。30年前と異なり、「喪」を経ない今回の代替わりに向けた動きは、民衆に「祝賀」への参加をそのかしている。現天皇を平和主義の担い手として称賛する声は、残念ながら民主団体や労働組合の中からも聞こえる。▼昭和天皇の死去による代替わりの時には大手マスコミは追悼報道一色に染まった。国民の知りたいことを無視したメディアの異様な光景の連続だったのに、それへの反省はみじんもない。天皇が死去した翌日の全国の新聞は一面トップの扱いだったが、津軽新報だけが違った。トップは雪下ろしで災害に遭わないようにと呼びかけたものだった。あの時、歌舞曲はまかりならんという空気が支配した。これに抗って誕生したのがコント集団「ザ・ニュースペーパー」だ。▼過去の戦争責任について質問された昭和天皇は「そういう言葉のアヤについては、文学方面はあまり研究もしていないのでよくわかりませんから」と答えた。アジアで二千万人を超える人間を殺し、自国民にも多大なる犠牲を強いた軍国主義国家の最高責任者だったはず。歴史の事実を忘れて日本国民はどうしてこのうも人好しなのか。